

第44回施肥技術講習会／講義スケジュール(案)

2026年2月25日(水)～26日(木)

主催:(一社)全国肥料商連合会 後援:農林水産省

	2月25日(水)		講 師	講 義 内 容
	8:45	受 付		もくせい会館 1階 富士ホール
	9:15～9:30	開講式		
1	9:30～10:20	<共通 50分>	農水省	I.「肥料の品質の確保等に関する法律」の概要
	10:20～10:30	休 憩		
2	10:30～11:15	<基礎 45分>	後 藤	II-①. 土壌と施肥の基礎知識
				1. 土壌の生成と分類 2. 各種土壌の特性 3. 土壌の物理性、化学性、生物性
3	11:15～12:00	<実学 45分>		II-②. 土壌診断分析に基づいた施肥
				1. 肥料価格高騰にも役立つ土壌診断 2. 国産バイオマス・未利用資源の肥料利用 3. 有機農業は環境にやさしいか？
	12:00～12:45	昼 食		(弁当を準備)
	12:45～12:50	DVD鑑賞		<<加里鉱石の産出と製造>>
4	12:50～13:35	<基礎 45分>	小 川	III-①. 施肥の原理と肥料の種類・特性、施肥の方法
				1. 施肥の原理、肥料資源の有限性 2. 肥料の分類と特性 3. 施肥量の決定方法
5	13:35～14:20	<実学 45分>		III-②. 環境にやさしい施肥技術
				1. 農業と環境 2. あふれる窒素をどうする 3. 環境にやさしい農業における施肥技術
	14:20～14:30	休 憩		
6	14:30～15:20	<共通 50分>	五十嵐	IV 生産環境と圃場栽培管理
				1. 気象環境がもたらす、栽培環境変化 2. 被覆による環境変化と生理生態の関係 3. 野菜類に対する栽培技術対応
	15:20～15:30	休 憩		
7	15:30～16:15	<基礎 45分>	馬	V-①. 植物のミネラル栄養の基礎
				1. 植物栄養と動物の栄養の違い 2. 肥料の誕生と功罪 3. 植物のミネラル栄養素の機能と欠乏症状 4. ミネラルと健康
8	16:15～17:00	<実学 45分>		V-②. 植物のミネラル輸送の仕組み
				1. ミネラル輸送体とは 2. ミネラル輸送の重要性 3. カドミウムとイタイタイ病 4. イネにおけるカドミウムの輸送機構 5. カドミウム低集積イネ品種の育成
	17:00～17:10	閉講式		* 実学コース受講者は解散
	2月26日(木)			(基礎コース受講者のみ)
	8:45	受 付		もくせい会館 2階 第1会議室
9	9:00～10:20	実演講習	メーカー技 師	VI. 簡易土壌分析機器の特長と使用方法
				農家のお医者さん / コンバ外水質計LAQUAtwin 農大式みどりくん / 反射式光度計RQフレックス
	10:20～10:30	休 憩		
	10:30～11:20	検定試験(1)		もくせい会館 2階 第1会議室
	11:20～11:35	休 憩		
	11:35～12:25	検定試験(2)		もくせい会館 2階 第1会議室
	12:25～12:30	閉講式		終了後解散

*講義内容は、一部変更になる場合があります事ご了承下さい。

第 44 回全肥商連施肥技術講習会 講師プロフィール

(敬称略)

後藤 逸男 (ごとう いつお)

東京農業大学名誉教授 東京農大発(株)全国土の会代表取締役
「全国土の会」 会長 (農家のための土と肥料の研究会)
農学博士 土壌学及び肥料学を専門分野とする。土壌病害の総合防除対策、
土壌改良資材の研究開発。農業生産現場に密着した実践的土壌学を目指す
「環境保全型農業事典」、「土壌学概論」、「施肥管理と病害発生」(共著)、
「土壌・肥料・植物栄養学用語集」、「土壌サイエンス入門」他多数執筆

小川 吉雄 (おがわ よしお)

元茨城県農業総合センター園芸研究所 所長
元鯉淵学園農業栄養専門学校教授、元東京農業大学客員教授
農学博士 土壌・肥科学、米麦・畑作物栽培等を専門分野とする。
窒素循環の再生技術を研究、農業と環境問題を研究。「土壌肥料用語事典」、
「地下水の硝酸汚染と農法転換」、「トコトンやさしい土壌の本」(共著) 他多数

五十嵐 大造 (いがらし だいぞう)

元東京農業大学国際食農科学科教授
元神奈川県農業技術センター三浦試験場主任研究員 農業改良普及員に従事
農学博士 主に露地野菜の栽培技術及び農業気象学を基にした気象生態の研究
に従事 ベタがけ等の気象改良による生産安定を中心に現場での野菜栽培
技術に取り組む 「局地気象学」「ベタがけを使いこなす」等執筆

馬 建鋒 (ま けんぼう)

岡山大学資源植物科学研究所 教授 所長
農学博士、作物のミネラル輸送機構の解明に従事
「日本におけるケイ酸研究」(英文)、「植物栄養学」(共著) など執筆
2015 年から 10 年連続「世界で最も影響力のある研究者」に選出
2018 年から低 pH における植物-土壌相互作用国際シンポジウム運営委員長
日本土壌肥料学会賞、日本農学賞、紫綬褒章、国際肥料協会 IFA Norman
Borlaug Plant Nutrition Award、Dennis R. Hoagland Award などを受賞

農林水産省 (肥料の品質の確保等に関する法律の概要)

農林水産省 消費・安全局農産安全管理課 専門担当官

以上